

平成29年5月19日

平成29年度 第1回多文化共生推進評議会 資料2

外国人に関する市民アンケート調査

1 目的

平成29年度に実施する「八王子市多文化共生推進プラン」の中間見直しにあたり、外国人市民の生活上の課題を把握するため調査を行った。

2 調査設計

- 調査地域 八王子市内全域
- 調査対象 市内に住居登録がある20歳以上の外国人
- 対象者数 1,000人
- 対応言語 日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、スペイン語
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査期間 平成28年12月27日から平成29年3月31日まで
- 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出法

3 調査結果

(1) 回収率

発送部数	未達部数	回収部数
1,000部	27部	194部 <19.9%>

(参考) 平成23年度回収部数 456部

(2) 設問別調査結果

別紙のとおり

※自由意見については、回答者の①国籍、②性別、③年代及び④居住歴を記載している。

<参考資料>

- 人口統計比較データ
- 設問別調査結果グラフ集

もくじ
目次

1	あなたのことを教えてください。	3
1	あなたの性別を教えてください。	3
2	あなたは何歳ですか。	3
3	あなたと一緒に住んでいる家族を教えてください。	4
4	あなたの国籍を教えてください。	4
5	あなたの在留資格を教えてください。	5
6	あなたの職業を教えてください。	6
7	日本に住んでいる長さを教えてください。	6
8	八王子市にこれからも住み続けたいですか。また、その理由を教えてください。	7
2	「子どもの教育」について教えてください。	10
9	「子どもの教育」について困っていることは何ですか。	10
10	「子どもの教育」で今後必要なことは何ですか。	11
3	「医療」について教えてください。	13
11	「医療」について困っていることは何ですか。	13
12	「医療」で今後必要なことは何ですか。	15
4	「住むところ」について教えてください。	17
13	「住むところ」について困っていることは何ですか。	17
14	「住むところ」で今後必要なことは何ですか。	19
5	「就労」について教えてください。	21
15	「就労」について困っていることは何ですか。	21
16	どの健康保険に入っていますか。	22
17	「就労」で今後必要なことは何ですか。	23
6	防災・災害について教えてください。	25
18	「防災・災害」について困っていることは何ですか。	25
19	「防災・災害」で今後必要なことは何ですか。	26
7	生活に関する情報・相談について教えてください。	27
20	生活の情報はどこで知りますか。	27
21	困ったときの相談相手は誰ですか。	28
	自由記述	30

1 あなたのことを教えてください。

問1 あなたの性別を教えてください。(該当するものに○を)

かいとうこうもく 回答項目	こうせいひ 構成比 (%)	
	ねんど 23年度	ねんど 28年度
だんせい 男性	37.1%	52.6%
じょせい 女性	60.7%	46.4%
むかいとう 無回答	2.2%	1.0%

男性が52.6%、女性が46.4%となっており、男女比はおおむね1:1である。

問2 あなたは何歳ですか。(該当するものに○を)

かいとうこうもく 回答項目	こうせいひ 構成比 (%)	
	ねんど 23年度	ねんど 28年度
16～19歳	2.2%	*
20～29歳	4.6%	17.5%
30～39歳	33.8%	23.7%
40～49歳	29.6%	21.1%
50～59歳	15.6%	17.0%
60～69歳	7.7%	11.3%
70歳以上	4.2%	6.7%
むかいとう 無回答	2.4%	2.6%

「30～39歳」が23.7%、次いで「40～49歳」が21.1%となり、働きざかり世代の回答割合が高くなった。

(注)「*」印は、当該年度に回答項目として設定されていないことを表す。

問3 あなたと一緒に住んでいる家族を教えてください。(該当するものに○を)

回答項目	構成比 (%)	
	23年度	28年度
1人暮らし (1人世帯)	26.1%	25.8%
夫婦・パートナー (1世代世帯)	25.7%	31.4%
親と子 (2世代世帯)	35.7%	33.5%
親と子と孫 (3世代世帯)	2.9%	2.6%
その他	3.7%	4.6%
無回答	5.9%	2.1%

「親と子 (2世代世帯)」が33.5%、「夫婦・パートナー (1世代世帯)」が31.4%と、同程度の割合となった。

問4 あなたの国籍を教えてください。(該当するものに○を)

回答項目	構成比 (%)	
	23年度	28年度
中国	31.3%	20.9%
韓国・朝鮮	17.7%	10.5%
フィリピン	15.2%	4.7%
アメリカ	2.3%	11.0%
ペルー	6.3%	2.6%
ブラジル	0.9%	5.8%
タイ	1.1%	3.7%
ネパール	4.5%	1.6%
マレーシア	0.7%	1.0%
インド	0.5%	0.5%
ベトナム	*	2.6%
その他	19.5%	35.1%
無回答	3.4%	1.6%

「中国」が20.9%、次いで「アメリカ」が11.0%、「韓国・朝鮮」が10.5%、「ブラジル」が5.8%となった。

【「その他」の内訳】※ 順不同

エジプト、インドネシア、ホンジュラス、モンゴル、イラン、ポーランド、香港、パラグアイ、モロッコ、エクアドル、コロンビア、ドイツ語圏、フランス、セネガル、スウェーデン、バングラディッシュ、ナミビア、オーストリア、フィンランド、ケニア、デンマーク、イタリア、スペイン、メキシコ、ベルギー、ロシア、ドイツ、ニュージーランド、オーストラリア、カナダ、台湾、イギリス、ガーナ

問5 あなたの在留資格を教えてください。(該当するものに○を)

回答項目	構成比 (%)	
	23年度	28年度
永住者	22.6%	49.5%
留学	24.6%	14.9%
日本人の配偶者等	11.6%	12.9%
特別永住者	2.2%	6.2%
家族滞在	9.4%	3.1%
技術	5.3%	*
人文知識・国際業務	2.0%	*
技術・人文知識・国際業務	*	5.7%
定住者	8.1%	1.5%
その他	10.1%	4.1%
無回答	4.2%	2.1%

「永住者」が49.5%、次いで「留学」が14.9%、「日本人の配偶者等」が12.9%となった。

問6 あなたの職業を教えてください。(該当するものに○を)

回答項目	構成比 (%)	
	23年度	28年度
自営業	5.0%	4.1%
会社員	14.0%	30.9%
アルバイト・パート	14.0%	17.0%
大学生、専門学校生	23.7%	13.4%
専業主婦	16.2%	13.9%
派遣社員・契約社員	6.4%	5.2%
無職	7.5%	5.2%
その他	9.0%	7.7%
無回答	4.2%	2.6%

「会社員」が30.9%、次いで「アルバイト・パート」が17.0%、「専業主婦」が13.9%、「大学生、専門学校生」が13.4%となった。

問7 日本に住んでいる長さを教えてください。(該当するものに○を)

回答項目	構成比 (%)	
	23年度	28年度
1年未満	11.0%	3.6%
1年～3年	33.6%	14.4%
4年～6年	15.1%	14.4%
7年～9年	8.3%	5.7%
10年以上	29.6%	60.3%
無回答	2.4%	1.5%

「10年以上」が60.3%となり、突出している。

問8 八王子市にこれからも住み続けたいですか。また、その理由を教えてください。

(該当するものに○を)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
住みたい	*	75.3%	—
住みたくない	*	2.6%	—
母国に帰りたい	*	2.6%	—
分からない	*	17.0%	—
無回答	*	2.6%	—

「住みたい」が75.3%となり、回答者の約8割が住み続ける意向を示している。一方で、「住みたくない」が2.6%、「母国に帰りたい」が2.6%と、住み続ける意思がない回答者は、1割未満であった。

【「住みたい」と回答した理由】

- 市内・近隣に家族が住んでいる。(10件 アメリカ、女性、70歳以上、10年以上 ほか)
- 市内・近隣に持家がある。(6件 イラン、男性、40～49歳、10年以上 ほか)
- 市内・近隣に勤め先がある。(配偶者含む) (7件 ベトナム、男性、20～29歳、1年～3年 ほか)
- 自然が豊か。(10件 韓国・朝鮮、女性、30～39歳、10年以上 ほか)
- 利便性が高い。(8件 韓国・朝鮮、女性、30～39歳、10年以上 ほか)
- 市内での暮らしに慣れた。(8件 韓国・朝鮮、女性、40～49歳、10年以上 ほか)
- 住みやすい。(4件 ブラジル、女性、50～59歳、10年以上 ほか)
- 八王子が好き。(4件 中国、男性、40～49歳、10年以上 ほか)
- 日本に好意を感じる。(3件 ブラジル、女性、60～69歳、10年以上 ほか)
- 学園都市 (中国、男性、40～49歳、10年以上)
- 環境、利便、市役所の対応が良い (ブラジル、男性、70歳以上、1年～3年)
- 高齢者に対する care が良いように思える (シルバーパス、医療費他) (アメリカ、

じょせい さいいじょう ねん ねん
女性、70歳以上、4年～6年)

- 学業が終わるまでは八王子市から移出するつもりはない。(中国、女性、30～39歳、4年～6年)
- 大学に近いから。(中国、男性、20～29歳、1年未満)
- 外国人が少ない。(中国、男性、20～29歳、4年～6年)
- 小中の同級生がいる。(ブラジル、男性、20～29歳、10年以上)
- 自然がよくて子育てに良い。(韓国・朝鮮、男性、40～49歳、10年以上)
- 交通の便が良い。(中国、男性、30～39歳、10年以上)
- 人が親切。(ペルー、女性、50～59歳、10年以上)
- 都会と田舎のバランスが良い。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ピースフル。(ベトナム、女性、30～39歳、1年～3年)
- 八王子から都心、横浜へは容易く接続できるにも関わらず、ハイキングエリア、遊歩道、公共図書館そしてプロバスケットチームなどの様々な魅力がある。(アメリカ、男性、50～59歳、10年以上)
- 人口密度が低い。(アメリカ、男性、60～69歳、10年以上)
- 暮らすには快適で、また私達にとっては手ごろな場所である。(アメリカ、女性、70歳以上、10年以上)
- 環境がいい。(中国、男性、30～39歳、4年～6年)
- 便利、安い。(中国、男性、30～39歳、4年～6年)
- 長く暮らした結果、日本は私の第二の故郷になった。(韓国・朝鮮、女性、60～69歳、10年以上)
- 良い場所。(アメリカ、女性、60～69歳、10年以上)

【「住みたくない」と回答した理由】

- 実家が横浜にあり、将来は両親の近くに住みたい。(中国、女性、20～29歳、10年以上)
- 職場から遠すぎる。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- 都心から遠い。(中国、男性、20～29歳、4年～6年)
- 都心から遠すぎる。(フィンランド、男性、20～29歳、1年未満)

【「母国に帰りたい」と回答した理由】

- つかれる。(タイ、男性、30～39歳、7年～9年)
- アメリカの方が好きだが、日本において八王子市は住みやすい場所だと思う。(アメリカ、男性、無回答、4年～6年)

- ・オーストリアのほうが、土地が安価。(オーストリア、男性、50～59歳、10年以上)

【「分からない」と回答した理由】

- ・家賃が安いので住みたいと思うが、デパートが少なくて買い物するときは立川まで行かなくてはならない。(中国、男性、20～29歳、4年～6年)
- ・先のことはわからない。(エジプト、男性、40～49歳、10年以上)
- ・子どもたちの小学校の近くへ引越しを検討中。(アメリカ、男性、50～59歳、4年～6年)
- ・就職したら、勤務先によって、引っ越すかもしれない。(中国、男性、20～29歳、4年～6年)
- ・八王子は子育て支援が充実しているし、山に近いが、日本語を流暢に話せない人々の就職の機会が少なく、長期間的に居住することは難しい。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ・子どもと私が日本で幸せになれるかどうかによる。(メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)
- ・65歳で退職した後、便利な生活ができるところに引っ越したい。(中国、女性、60～69歳、10年以上)
- ・決断するのに十分な時間がない。(ロシア、男性、20～29歳、1年未満)
- ・八王子に住んでいますが、仕事の関係でどこに行くことになるか分からない。仕事を八王子に限って探すつもりではない。(イギリス、女性、20～29歳、1年～3年)

2 「子どもの教育」について教えてください。

※子どもがいる又はいた方が回答対象。

問9 「子どもの教育」について困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
学校の連絡が分からない。	7.9%	11.2%	3.3%
日本語での授業が分からない。	5.7%	1.7%	-3.9%
友達ができない・いじめられる。	2.3%	2.6%	0.2%
子どもが学校に行かない・行きたがらない。	1.1%	0.4%	-0.6%
子どもの教育について相談をする友達がいない。	3.6%	8.2%	4.5%
卒業した後の進路・就職	7.7%	7.7%	0.0%
自分の国の文化を分かってもらえない。	5.2%	4.3%	-0.8%
困っていることはない。	*	18.9%	—
その他	10.7%	6.9%	-3.8%
無回答	55.9%	38.2%	-17.6%

「困っていることはない。」が18.9%となった一方で、最も困っている割合が高かったことは、「学校の連絡が分からない。」で、11.2%となった。次いで、「子どもの教育について相談をする友達がいない。」が8.2%、「卒業した後の進路・就職」が7.7%となった。

【その他回答】

- ・制度がまったく違うので、分かるまでは時間がかかった。子供達は公立学校で、色々大変だったが、大きな問題はなかった。(ドイツ、女性、50～59歳、10年以上)
- ・小学校教育で、5年・6年次以前に英語教育がない。(ニュージーランド、男性、30～39歳、10年以上)
- ・文書をローマ字やカタカナで書いてもらいたい。(ペルー、女性、50～59歳、10年以上)
- ・グローバルカリキュラムがない。(カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- ・制服が有料である。(無回答、男性、無回答、無回答)

- ・障害のある子どもに対しての支援が適切でない。(スペイン、男性、40～49歳、10年以上)
- ・日本の教育制度が難しい。(オーストラリア、男性、50～59歳、4年～6年)
- ・日本の教育システムはとも厳格で、教育よりも規則を教えることに時間を費やしている。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ・クラブ活動により勉強する時間が減らされ、お金もかかる。もっと短時間で、ゆったりと行うべき。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
- ・息子が学校で問題を抱えていても気づかない。私は日本語が読めないが、理解はできる。しかし、保護者と教師間のコミュニケーションがない。(メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)
- ・中学校以降の教育システムの質。(イギリス、男性、30～39歳、4年～6年)

問10 「子どもの教育」で今後必要なことは何ですか。(○は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
いろいろな言葉での情報を増やす。	10.1%	9.0%	-1.0%
日本語を勉強できる教室を作る。	9.0%	5.8%	-3.2%
入学時の支援者の派遣を充実させる。	*	3.2%	—
学校に指導員が来る回数を増やす。	*	4.0%	—
相談するところを作る。	*	9.0%	—
進路や就職について教えてもらう。	7.1%	5.4%	-1.6%
日本人と交流する。お互いの国を知る機会を作る。	10.1%	9.0%	-1.0%
近所の行事や活動に参加しやすくする。	4.9%	8.7%	3.7%
相談窓口の設置や学校での巡回指導の充実	5.3%	*	—
同じ言語の外国人同士のグループを作る	5.9%	*	—
その他	3.4%	7.6%	4.1%

「いろいろな言葉での情報を増やす。」、「相談するところを作る。」、「日本人と交流する。お互いの国を知る機会を作る。」が、それぞれ9.0%となった。

【その他回答】

- ・誰でも出来る PTA 作りが必要。「暗黙の了解」は無くすこと。(ドイツ、女性、50～59歳、10年以上)
- ・子どもに英語を教えること。(ベルギー、男性、40～49歳、10年以上)
- ・親の選択で方針を決めれば何とかなる。(韓国・朝鮮、女性、70歳以上、10年以上)
- ・英語の授業を増やす。(ニュージーランド、男性、30～39歳、10年以上)
- ・グローバルカリキュラムの導入。(カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- ・アカデミックインフォメーションテクノロジーサービスやALTのパートタイム英語講師の導入。(無回答、男性、無回答、無回答)
- ・教師の能力向上。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- ・障害児に、彼らの可能性を広げるような活気あふれる活動機会を与える。(スペイン、男性、40～49歳、10年以上)
- ・文化の違いに着目するのではなく、似ているところに着目すべき。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ・自身の子どもが受けた日本の教育は良い(無回答)
- ・勉強と家族の時間を増やすために、クラブ活動(特に運動系)の時間を減らすべき。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
- ・カタカナの使用をやめてほしい。英語の発音には悪影響。英語の授業では、ネイティブな話者を使う。1年生から英語の授業を始める。(アメリカ、男性、無回答、4年～6年)
- ・いわゆる「ハーフ」の子どもの扱い方に関する教師の専門的能力の開発。(すなわち、いじめを認識すること、文化について話すことなど。)(アメリカ、女性、30～39歳、10年以上)
- ・毎月改善すべき点を送付してくれれば、その時に子どもを手助けすることができる。子どもが学校でうまくやっているか、そうでないのかは分からないので。(メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)
- ・言語スキルの向上、特にアウトプット技能(話す・書く)(イギリス、男性、30～39歳、4年～6年)

3 「医療」について教えてください。

問11 「医療」について困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
日本の医療制度が分からない。	20.2%	10.8%	-9.3%
どこの病院に行ったら良いか分からない。	*	11.8%	—
病院で病気やけがについて説明できない。	22.5%	12.4%	-10.1%
病院の先生の話が分からない。	20.0%	13.1%	-6.9%
保健所など、市が実施している健康診断や健康相談に参加しにくい。	11.4%	6.7%	-4.7%
医療について相談できる場所がない。	10.1%	8.9%	-1.1%
困っていることはない。	*	26.1%	—
その他	6.9%	7.3%	0.3%
無回答	8.8%	2.9%	-5.9%

「困っていることはない。」が26.1%となった一方で、「病院の先生の話が分からない。」が13.1%、「病院で病気やけがについて説明できない。」が12.4%となった。

【その他回答】

- 紹介状制度が不明確。紹介先の先生、病院、治療法は選べないのか。(ドイツ、女性、50～59歳、10年以上)
- 医者が、外国人に対して嫌な顔をするのが困る。(中国、男性、20～29歳、4年～6年)
- 生保のせいか、順番を後回しにされる。(韓国・朝鮮、女性、70歳以上、10年以上)
- 英語でメンタルヘルスカウンセリングを受けられる場所はどこか。(無回答、男性、無回答、無回答)
- 全てがよくわからない。日本の医師は海外の疾病や外国人の身体に関する知識が少ない。日本の薬は体の大きい外国人にとっては弱すぎる。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)

- 基本的な意思疎通はできるが、医師を信用できるか否かの判断ができない。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)

 - 良い医療機関もあるが、悪い医療機関もあり、診療の質に差がある。(アメリカ、男性、70歳以上、10年以上)
 - 薬に頼りすぎている。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
 - 医療保険制度の加入方法が分からない。(無回答)
 - 主要な治療費を支払えなくなるのではないかと心配。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
 - いつも私に風邪の検査をしようとしてくる。私が風邪の症状がないときには無駄。(アメリカ、男性、無回答、4年～6年)
 - メンタルヘルスに関する情報をどこで探せばいいか不明。とりわけ、英語でのカウンセリング、「西洋」又は「北アメリカ」の手法で養成された医師による日本語でのカウンセリングに関する情報。(アメリカ、女性、30～39歳、10年以上)
 - たくさんの方がいると、医者にかかるのを躊躇してしまう。病気にかかった子どもを連れていきたいが、病院にはウイルスが何種類もいるし、他の病気がうつるかもしれない、またおもちゃも清潔ではない。病院は予約を受け付けて、何時間も待たせるのを避けるべき。(メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)
 - 妻が健康管理を手助けしてくれているし、かかりつけ医は英語を話せる。(デンマーク、男性、70歳以上、10年以上)

問12 「医療」で今後必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
いろいろな言葉での病院の情報。	*	17.0%	—
いろいろな言葉での日本の医療制度の情報。	*	10.9%	—
いろいろな言葉の問診票を病院に置く。	16.3%	16.2%	0.0%
病院での母国語での通訳。	16.3%	13.3%	-3.0%
いろいろな言葉で予防接種や健康相談のお知らせを作る。	15.7%	11.1%	-4.5%
いろいろな言葉で対応できる医療の相談するところを作る。	17.9%	15.4%	-2.5%
多言語での情報提供の充実	23.3%	*	—
その他	3.9%	8.5%	4.6%

「いろいろな言葉での病院の情報。」が17.0%、次いで「いろいろな言葉の問診票を病院に置く。」が16.2%、「いろいろな言葉で対応できる医療の相談するところを作る。」が15.4%となった。

【その他回答】

- 英語のできる医者。(ポーランド、男性、20～29歳、1年～3年 ほか3名)
- 英語が話せる医師の名簿。(アメリカ、女性、30～39歳、10年以上)
- 医療に関する日本語での情報が欲しい。(香港、男性、20～29歳、1年未満)
- 困っていない。(台湾、女性、50～59歳、4年～6年)
- 対応の手伝いをしてくれる人が欲しい。(ペルー、男性、40～49歳、10年以上)
- 60歳以上の健診情報。(中国、男性、60～69歳、10年以上)
- 掛かりつけ医の制度を導入する。(ベルギー、男性、40～49歳、10年以上)
- 専門医にすぐに診察してもらえるサービス。(カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- 日本の医療機関を利用したことがない。(インド、男性、30～39歳、1年未満)
- 待ち時間と処方薬の多さ。(ニュージーランド、男性、20～29歳、4年～6年)

- 日本人医師の外国人の身体的特徴に関する認知度向上。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- 特に夜間や週末用の多言語症状別救急診療医療機関リスト。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- 医師や他の医療従事者に対する継続教育や再検定制度。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- 主要な医療費の分割払い。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
- 外国語ができる医師。(ブラジル、男性、30～39歳、1年～3年)
- 日本語が話せるので大丈夫。(アメリカ、男性、60～69歳、10年以上)
- 経験がない。(フィンランド、男性、20～29歳、1年未満)
- 予約を受け付けるべき。(メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)
- システムは私にとって満足いくものである。(デンマーク、男性、70歳以上、10年以上)
- 夫が日本人なので、医療に関することは手助けしてくれる。(アメリカ、女性、70歳以上、10年以上)

4 「住むところ」について教えてください。

問13 「住むところ」について困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
家を借りる際のルールが分からない。	*	5.1%	—
外国人だから住むことを断られる。	18.4%	10.1%	-8.2%
家を借りるときに保証人が見つからない。	22.5%	18.5%	-4.0%
日本の生活のきまり(ごみの出し方など)が分からない。	9.8%	5.1%	-4.7%
文化の違いで近所の人とケンカすることがある。	10.3%	3.3%	-7.0%
住むところについて相談できる場所がない。	14.9%	9.4%	-5.4%
困っていることはない。	*	34.4%	—
その他	10.4%	8.0%	-2.4%
無回答	13.6%	6.2%	-7.4%

「困っていることはない。」が34.4%となった一方で、「家を借りるときに保証人が見つからない。」が18.5%、「外国人だから住むことを断られる。」が10.1%となった。

【その他回答】

- ・家賃が高すぎる。(マレーシア、女性、20～29歳、1年未満)
- ・外国人なので、必要以上に大家さんが見まわりにくる。(ドイツ、女性、50～59歳、10年以上)
- ・更新料を払うのが納得できない。(韓国・朝鮮、男性、40～49歳、10年以上)
- ・不必要な礼金。(ニュージーランド、男性、30～39歳、10年以上)
- ・敷金、保証金、清掃費、前払い金、仲介手数料等、初期費用として請求されるものが多い。(インド、男性、30～39歳、1年未満)
- ・過干渉で態度の悪い老人。(ニュージーランド、男性、20～29歳、4年～6年)
- ・時代遅れのシステムと礼金。(無回答)
- ・銀行が住宅ローンを組んでくれない。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)

- 外国人であるため、大家に賃貸を拒否される。仲介業者は問題なし。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- マンションの1室を所有しているが、住民会議の内容が理解できないことがある。(アメリカ、男性、70歳以上、10年以上)
- 固定資産税が高い。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
- 幸運なことに、妻が日本人。もし一人きりの外国人ならば、差別や、アパートの借り方などについて、いくつか問題があるだろう。(アメリカ、男性、無回答、4年～6年)
- 多大な初期経費。鍵交換代、保証金、「贈り物」など。(イギリス、女性、20～29歳、1年～3年)
- 永住者でないとローンが組めない。(オーストラリア、男性、50～59歳、10年以上)
- 夫が全てやってくれたので、何の問題もない。(メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)
- 隣人が手助けしてくれるが、この手の問題は妻が主に解決してくれる。(デンマーク、男性、70歳以上、10年以上)
- 分からない。職場の寮に住んでいる。(中国、女性、20～29歳、4年～6年)
- ポストが誰かに壊されたことが何回もあった。(中国、男性、50～59歳、10年以上)

問14 「住むところ」で今後必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
家を借りるときのルールブックを配る。	*	12.8%	—
家をかりるときの代行保証制度の充実。	20.2%	17.1%	-3.0%
いろいろな言葉で住んでいる地域のルールブックを配る。	*	15.1%	—
町会・自治会に外国人が参加する。	13.0%	15.1%	2.1%
住むところについて相談できる場所をつくる。	14.0%	17.1%	3.1%
多言語での情報提供の充実	21.1%	*	—
住居に関する多言語でのガイドブックの配布	16.3%	*	—
その他	5.8%	7.0%	1.2%
無回答	9.6%	15.8%	6.1%

「家をかりるときの代行保証制度の充実。」及び「住むところについて相談できる場所をつくる。」が17.1%、次いで「いろいろな言葉で住んでいる地域のルールブックを配る。」及び「町会・自治会に外国人が参加する。」が15.1%となった。

【その他回答】

- ・ペット類の散歩のしかた。分別なく糞尿させているので困る。(韓国・朝鮮、男性、60～69歳、10年以上)
- ・マナーを守ればよい。(韓国・朝鮮、女性、70歳以上、10年以上)
- ・引越し費用の引き下げ。(インド、男性、30～39歳、1年未満)
- ・日本の住居に関する知識向上。安全のためのチェックポイントなど。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- ・住居賃貸に関する人種差別を禁ずる法律(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上 ほか1名)
- ・2年ごとに支払う更新料の廃止(アメリカ、男性、70歳以上、10年以上)

- ・差別に関する法律を変更・新設（アメリカ、男性、30～39歳、10年以上）
- ・システムがややこしい。1つの契約に仲介会社・管理会社・オーナーが関係するのでお金と時間がかかる。（ベトナム、女性、30～39歳、1年～3年）
- ・固定資産税を下げる。（オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上）
- ・差別されないこと（中国、男性、50～59歳、10年以上）

5 「就労」について教えてください。

問15 「就労」について困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
仕事を探する方法が分からない。	18.4%	14.7%	-3.7%
外国人だから、働くことを断られた。	16.5%	12.4%	-4.1%
留学生の就職情報が少ない。	17.2%	9.0%	-8.1%
日本で働くためのマナーが分からない。	*	8.6%	—
日本人よりもらえるお金が少ない。	*	9.4%	—
困っていることはない。	*	33.5%	—
就職後、日本語や基本的なルールがわからずに困る	18.6%	*	—
賃金が安い、社会保険に入っていない	8.3%	*	—
その他	8.7%	6.0%	-2.6%
無回答	12.4%	6.4%	-5.9%

「困っていることはない。」が33.5%となった一方で、「仕事を探する方法が分からない。」が14.7%、「外国人だから、働くことを断られた。」が12.4%となった。

【その他回答】

- ・言語の壁。労働時間が長すぎる。(ポーランド、男性、20～29歳、1年～3年)
- ・就労の業種が少ない。(中国、女性、50～59歳、10年以上)
- ・日本にいる理由、家族のこと、全てを細かく聞かれ、全ての情報をさらさなければならぬこと。(韓国・朝鮮、女性、30～39歳、10年以上)
- ・社員への昇格を断られた。(永住者ではないため。)(韓国・朝鮮、女性、40～49歳、10年以上)
- ・自分自身に関する問題はないが、会社によって差別はまだある。(ブラジル、男性、30～39歳、4年～6年)
- ・以前は就職情報が少なかった。(カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- ・長時間労働(フィリピン、男性、40～49歳、10年以上)
- ・過労働(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)

- ・外国人であるために昇進の機会が得られなかった。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ・会社に労働基準法を遵守させる。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ・平均的な収入があっても子どもを育てるのが難しい。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
- ・法律は労働者ではなく雇用主を保護しており、あいまいである。イギリスの法律とは違い、日本の法律は外国人労働者に対する差別を許容している。(イギリス、男性、40～49歳、10年以上)
- ・日本の年金システムは不透明。(カナダ、男性、40～49歳、10年以上)

問16 どの健康保険に入っていますか。(該当するものに○を)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
職場の健康保険	21.1%	37.6%	16.5%
国民健康保険 (公的健康保険)	52.6%	51.5%	-1.0%
入っていない	6.4%	1.5%	-4.8%
その他	7.0%	4.1%	-2.8%
無回答	12.9%	5.2%	-7.7%

「国民健康保険 (公的健康保険)」が51.5%、次いで「職場の健康保険」が37.6%、「入っていない」が1.5%となった。

【その他回答】

- ・生活保護 (台湾、男性、70歳以上、10年以上 ほか1名)
- ・私学共済 (イタリア、女性、50～59歳、10年以上)
- ・知らない。(フランス、女性、20～29歳、4年～6年)
- ・健康保険には加入しているが、国民健康保険と社会保険の違いが分からない。(タイ、女性、30～39歳、1年～3年)
- ・医療保険が欲しい。(無回答)
- ・夫の会社の保険 (メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)
- ・プルデンシャル (注：プルデンシャル生命保険株式会社の生命保険と思われる。)(韓国・朝鮮、女性、30～39歳、10年以上)

問17 「就労」で今後必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
日本で働くためのマナーを教えてください。	*	10.8%	—
日本の就職活動の仕方や面接について教えてください。	*	13.9%	—
日本で働くためのマナーや面接などの研修の実施	23.0%	*	—
ハローワークの情報をいろいろな言葉で作ること。	15.9%	14.2%	-1.7%
留学生のための就職支援セミナーを行う。	13.4%	9.9%	-3.4%
働いている人に日本語を教えること。	17.3%	13.4%	-3.9%
外国人の働く環境を良くする。	21.6%	20.7%	-0.8%
その他	3.4%	8.5%	5.0%

「外国人の働く環境を良くする。」が20.7%、次いで「ハローワークの情報をいろいろな言葉で作ること。」が14.2%、「日本の就職活動の仕方や面接について教えてください。」が13.9%となった。

【その他回答】

- 外国人にも日本人同様の雇用条件を。特に大手ゼネコン。(韓国・朝鮮、男性、60～69歳、10年以上)
- 外国人が日本の労働環境に合わせるだけでなく、日本の会社も外国人の働き方を取り入れようとする努力が必要。(ポーランド、男性、20～29歳、1年～3年)
- 外国人募集枠を設ける。(ブラジル、男性、20～29歳、10年以上)
- 今はOKだが、以前は大変苦勞した。(カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- 長時間労働に関する規則を厳しくする。(フィリピン、男性、40～49歳、10年以上)
- 日本の雇用形態や質の向上 (カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- 特にビザに関する情報、また、就職申し込みの時期など。(イタリア、女性、3

0～39歳、4年～6年)

- ・ガイドブックの作成 (男性、無回答)
- ・二か国語での契約書・外国人のための労働規則をハローワーク等の手に入りやすい場所に設置。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- ・日本の雇用主に仕事に関する文化の違いに関する情報提供やセミナーを行う。(スペイン、男性、40～49歳、10年以上)
- ・日本人が他の文化を尊重するよう教育する。(オーストラリア、男性、50～59歳、4年～6年)
- ・年齢・人種・性・国籍差別を禁ずる法律(アメリカ、男性、70歳以上、10年以上)
- ・言葉の壁(セネガル、男性、20～29歳、1年～3年)
- ・会社に労働基準法を遵守させる(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ・外国で生活するには沢山の難題があるので、日本人と外国人を平等に扱うべき。(ベトナム、女性、30～39歳、1年～3年)
- ・市税の引き下げ。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
- ・もしも外国人市民に日本に長期的に滞在して欲しければ、雇用契約に“FOREIGN”という単語を使うべきではない。(イギリス、男性、40～49歳、10年以上)
- ・バイリンガルの職場環境(ブラジル、男性、30～39歳、1年～3年)
- ・労働法や権利に関する情報(イギリス、女性、20～29歳、1年～3年)
- ・全ての人により良い労働環境を。(アメリカ、男性、30～39歳、1年～3年)
- ・外国人が就職後の悩みを相談できる窓口を開設。(中国、女性、60～69歳、10年以上)

6 防災・災害について教えてください。

問18 「防災・災害」について困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
地震や大雨のとき、どうしたらいいかわからない。	23.5%	13.8%	-9.7%
近所の人たちと助け合うことができるか不安。	16.5%	12.8%	-3.7%
防災訓練の参加方法がわからない。	10.9%	9.2%	-1.7%
日本語がわからないから不安。	18.2%	13.1%	-5.1%
いろいろな言葉での地震や大雨の情報が少ない。	19.3%	20.0%	0.6%
困っていることはない。	*	24.9%	—
その他	3.0%	2.3%	-0.7%
無回答	8.4%	3.9%	-4.4%

「困っていることはない。」が24.9%となった一方で、「いろいろな言葉での地震や大雨の情報が少ない。」が20.0%となった。

【その他回答】

- ・防災訓練はその町でやっているものなので、わざわざ外国人に特別に声をかけないと思う。防災訓練も必要だし、各町の問題も解決しないと、いざという時大変。(ドイツ、女性、50～59歳、10年以上)
- ・家族と離れている時に災害にあったら大変困る。他に頼る人がいない。(カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- ・何とかなっている。(韓国・朝鮮、女性、70歳以上、10年以上)
- ・外国人同士が助け合えるよりよいシステムを作る。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- ・災害が起こったときに自治体が対応しきれないのではないかと心配。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)

問19 「防災・災害」で今後必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
いろいろな言葉での防災マップや行動マニュアルを配る。	27.9%	24.3%	-3.5%
町会・自治会へ参加する。	9.7%	10.4%	0.7%
防災訓練に参加する。	13.6%	14.2%	0.6%
災害のとき、通訳やいろいろな言葉での情報を増やす。	21.4%	22.7%	1.3%
FacebookなどのSNSで災害のときの情報をいろいろな言葉で伝える。	17.2%	18.4%	1.2%
その他	3.2%	2.7%	-0.5%
無回答	7.0%	7.2%	0.2%

「いろいろな言葉での防災マップや行動マニュアルを配る。」が24.3%、次いで「災害のとき、通訳やいろいろな言葉での情報を増やす。」が22.7%、「FacebookなどのSNSで災害のときの情報をいろいろな言葉で伝える。」が18.4%となった。

【その他回答】

- 地震があったとき、どこに行けばよいか分からない。(モンゴル、女性、30～39歳、10年以上)
- 公園や学校などの避難場所に『ここは避難所です』という呼びかけの案内を多言語にして増やしたほうがいいと思う。(韓国・朝鮮、男性、40～49歳、10年以上)
- 防災マップなどのものを配って欲しい。日本語でもいい。(香港、男性、20～29歳、1年未満)
- すべての行政機関において、より良い災害対策。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)

7 生活に関する情報・相談について教えてください。

問20 生活の情報は何で知りますか。(〇はいくつでも)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
新聞・雑誌 (日本語)	9.8%	8.0%	-1.7%
新聞・雑誌 (日本語以外)	7.0%	6.4%	-0.6%
テレビ・ラジオ (日本語)	18.8%	17.0%	-1.8%
テレビ・ラジオ (日本語以外)	5.5%	6.0%	0.4%
インターネット	21.5%	27.4%	5.9%
Facebook などのSNS	*	8.0%	—
町会・自治会の掲示板、回覧板など	2.8%	3.8%	1.0%
同じ国の友達	15.7%	9.2%	-6.4%
八王子市役所 (広報紙など)	6.6%	7.0%	0.3%
八王子国際協会	5.3%	1.2%	-4.1%
その他	3.6%	4.0%	0.4%
無回答	3.4%	2.0%	-1.4%

「インターネット」が27.4%、次いで「テレビ・ラジオ (日本語)」が17.0%となった。

【その他回答】

- ・日本人の友達 (メキシコ、女性、20～29歳、1年～3年)
- ・妻 (ブラジル、男性、30～39歳、10年以上 ほか1名)
- ・学校 (香港、男性、20～29歳、1年未満)
- ・職場 (ペルー、男性、40～49歳、10年以上)
- ・夫 (フィリピン、女性、30～39歳、7年～9年)
- ・家族 (ニュージーランド、男性30～39歳、10年以上 ほか2名)
- ・隣人・宗教団体 (イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- ・インターネット (無回答)
- ・日本語を話すことができる妻や娘に聞く。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
- ・同僚 (オーストラリア、男性、50～59歳、10年以上)
- ・日本人の友達 (フィンランド、男性、20～29歳、1年未満)

- ・Ginkgo (ロシア、女性、40～49歳、10年以上)
- ・ソーシャルメディアWechat (注：微信。中国大手IT企業テンセント (中国名：騰訊) が作った無料インスタントメッセージングアプリ) (中国、女性、60～69歳、10年以上)

問21 困ったときの相談相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

回答項目	構成比 (%)		増減
	23年度	28年度	
家族・親族 (日本にいる)	19.3%	25.9%	6.5%
家族・親族 (日本以外にいる)	10.8%	11.3%	0.5%
職場の人 (日本人)	12.4%	13.2%	0.7%
職場の人 (日本人以外)	5.7%	6.1%	0.4%
同国人の友人	23.5%	*	—
同じ国の友達 (日本にいる)	*	17.2%	—
同じ国の友達 (日本にいない)	*	5.2%	—
近所の人	5.0%	6.6%	1.6%
大使館・領事館	2.9%	2.3%	-0.5%
八王子市役所	5.2%	4.3%	-0.8%
八王子国際協会	6.7%	0.9%	-5.7%
その他	4.4%	4.5%	0.0%
無回答	4.2%	2.5%	-1.7%

「家族・親族 (日本にいる)」が25.9%、次いで「同じ国の友達 (日本にいる)」が17.2%、「職場の人 (日本人)」が13.2%となった。

【その他回答】

- ・ヘルパー (台湾、男性、70歳以上、10年以上)
- ・寮の学生 (マレーシア、女性、20～29歳、1年未満)
- ・親友 (日本人) (韓国・朝鮮、女性、40～49歳、10年以上 ほか1名)
- ・ケアマネ (韓国・朝鮮、男性、70歳以上、10年以上)
- ・自分で調べる (香港、男性、20～29歳、1年未満)
- ・友人の日本人 (ドイツ、女性、50～59歳、10年以上)

- 小中の同級生 (ブラジル、男性、20～29歳、10年以上)
- 大学の職員 (マレーシア、男性、20～29歳、1年～3年 ほか1名)
- 誰にも相談しない。(韓国・朝鮮、女性、70歳以上、10年以上)
- 日本にいる異国出身の友人 (カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- 通っているジムの仲間 (イタリア、女性、30～39歳、4年～6年)
- 大学の友人 (インド、男性、30～39歳、1年未満)
- 警察 (イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- 市議会議員 (イギリス、男性、50～59歳、10年以上)
- 外国人の友人 (タイ、女性、30～39歳、1年～3年)
- クラスメイト (ブラジル、男性、30～39歳、1年～3年)
- 教会の友人 (アメリカ、女性、70歳以上、10年以上)

じゆうきじゆつ
自由記述

じようほうていきよう
【情報提供について】

- ・日本の文化や伝統行事より、日本人の良し悪しに対する考え方や普段の生活習慣、建前、言い回し等のマニュアルを作り、外国人に配布した方が多文化共生の推進に役立つと思う。(台湾、男性、60～69歳、10年以上)
- ・多くの外国人市民は市役所等が行っている既存の外国人支援制度を知らないのではないかと。(イギリス、男性、30～39歳、4年～6年)
- ・情報がある場合は、ポルトガル語で送ってください。(ブラジル、女性、60～69歳、10年以上)
- ・全てのシステムについて、日本語ができないと全く分からないし、国際化には程遠い。(イタリア、女性、50～59歳、10年以上)

きよういく
【教育について】

- ・学校を選択するより前に、息子の日本語レベルをテストする又は決定する方法があるべきです。(息子は外国で生まれた日本国民)(カナダ、男性、40～49歳、1年～3年)
- ・いじめのような問題に関して、助言・援助を行う、公立学校から独立した組織があるべきです。息子が問題を抱えているときに、どこへ行けばよいのか分かりません。(カナダ、男性、40～49歳、1年～3年)
- ・高齢者に対して敬意は多く払われているが、子ども達へも敬意が払われるべきである。子ども達が遊んだり、走ったりするのは当たり前。しかし子ども達がそれをする、日本人は嫌な表情をする。いつも子どもは制限され、そして彼らの想像力や夢が削られている。子どもには大人の精神で接して。(メキシコ、女性、30～39歳、1年～3年)

しゆうろ
【就労について】

- ・JICE(注:一般財団法人日本国際協力センター)のグループが八王子ハローワークにほしい(日本語を教えてくれるから)。新宿、立川、青梅などにあつて、八王子にないから。夜勉強したいから。(ペルー、女性、50～59歳、10年以上)
- ・外国人とこの町を盛んにして、もっと仕事しやすい所を作してほしい。(エクアドル、女性、30～39歳、10年以上)
- ・外国人向けに特化したハローワークのブースを設けてほしい。日本で義務教育を受けた外国人用の就職情報を増やしてほしい。(ブラジル、男性、20～29歳)
- ・八王子に沢山の大学や短大があることを知り、うれしいです。祖国の友人にも教え

ます。八王子に住み続けたいのですが、自分の日本語レベルが低く、仕事を見つけることが困難です。(セネガル、男性、20～29歳)

【まちづくりについて】

- ・散歩道、公園にベンチがなく不便(バス停も)。住宅内、道路の照明が暗い、街灯が少ない。ゴミ入れがなく不便。(ブラジル、男性、70歳以上、10年以上)
- ・主婦的な意見で恐縮ですが、駅前で購入できる総合スーパーが少ないと感じる。(中国、女性、20～29歳、10年以上)
- ・ユーロードの客引きを禁止する！ポスターや警備員が言ってもあまり減らない。(中国、男性、30～39歳、10年以上)
- ・歴史があって自然も多く住みやすいですが、先にも書いたように、ヨーロッパの国に比べ河川敷が管理されておらず危険でもあると思います。良く整備すれば市民の憩いの場になる。もったいないスペースだと思います！(スペイン、男性、50～59歳、7年～9年)
- ・八王子は住みよい場所です。しかし、高尾駅や八王子駅のように、人が乗降する駅は、より安全に設計されるべきです。なぜならば、乗客はよく走って電車に乗り込んだり、乗換えをしたりしており、また他の乗客にぶつかったり、押し込んだりしているからです。電車の駅をより安全にしてください！(アメリカ、男性、50～59歳、10年以上)
- ・八王子みなみ野ではスポーツをする機会がない。これらがとてもストレス。(無回答、男性、無回答、無回答)

【多言語化について】

- ・全国的に英語(共通語)などの案内板や標識が少ない。又、表現に間違いが多い(英語の文法など)。専門家にチェックしてもらっては？Ex:交通機関、道路、町の看板etc. 共有場所(図書館、役所、etc.) (カナダ、男性、40～49歳、10年以上)
- ・税に関する多言語情報が必要。(ニュージーランド、男性、20～29歳、4年～6年)
- ・子育てに関する英語の情報がない。英語でのカウンセリングサービスがない。(無回答、男性、無回答、無回答)
- ・道路標識が日本語のみの場合が多いので、急には読めない。日本の交通ルールを英語で提供。免許更新の講義が日本語のみなのでわからない。(イギリス、男性、50～59歳、10年以上)

【医療・年金制度について】

- ・一人暮らしで病気になったので大変です。(韓国・朝鮮、女性、70歳以上、10年以上)
- ・医療保険制度の加入方法を知りたい。(無回答)
- ・年金の規則が分からない。日本から出国した場合、掛け金はどうなるのか。(ニュージーランド、男性、30～39歳、10年以上)
- ・外国人市民のためのカウンセラーがいると良い。すでにそのようなサービスがあるのであればもっと情報提供すべき。あなた方の努力に感謝します。(イタリア、女性、30～39歳、4年～6年)

【日本語学習について】

- ・無料の日本語レッスンがあるが、時間が不便。お金を払って自分のスケジュールに合ったレッスンを探すつもりだ。(アメリカ、男性、50～59歳、4年～6年)
- ・私が40年間日本に住んでいるので、言葉が不自由なことがないです。すなわち、生活に困ることもないです。言葉が通じないと、色々困ることも出て来ます。外国人に住みやすい環境を作ってあげたいなら、まず日本語が早くわかるように、手伝ってあげてください。(例:無料日本語講座)(イギリス、女性、60～69歳、10年以上)
- ・まだ漢字が分からないボランティアで漢字を教えてくれる人を紹介して欲しいです。漢字で困っています。(モンゴル、女性、30～39歳、10年以上)
- ・東京エリアは、便利で、買い物、医者、病院にかかるときもコミュニケーションが容易に取れる。私の日本語能力は限られているが、日常でよく使う単語は以前参加していた日本語クラスで学んだ。(デンマーク、男性、70歳以上、10年以上)

【交流について】

- ・子どもに日本語以外の、自分の国(中国語)の言葉も覚えて欲しいので、同じ月齢の子を持つ親の交流の場があったらいいと思います。(中国、女性、30～39歳、10年以上)
- ・八王子市が外国人の為のイベントとかfestivalを開いてくださったらおもしろそうですが、いかがでしょうか?(韓国・朝鮮、男性、40～49歳、10年以上)
- ・毎年、外国人留学生向けの新入生歓迎会があればいいと思います。(中国、男性、20～29歳、4年～6年)
- ・全市の外国人(国別がいい)の交流会を行うことを通して、八王子市への親近感および愛着を深めることを望みます。(中国、女性、60～69歳、10年以上)
- ・交流によって、中日両国の友好関係がますます発展することを望みます。(中国、

男性、50～59歳、10年以上)

【その他要望】

- ・10年以上日本に住んでいて、税金も払っているのに、投票権が欲しいです。
(ベルギー、男性、40～49歳、10年以上)
- ・なぜこの調査は郵送されたのでしょうか？インターネット上の調査にすべきです。
メールアドレスが載っていないのはなぜでしょう？記載すべき事項です。(アメリカ、男性、30～39歳、10年以上)
- ・市議会議員選挙の選挙権を！（イギリス、男性、50～59歳、10年以上）
- ・日本で生まれて育った人と、留学・結婚・移住・仕事等で住んでいる人たちはかなり状況が異なるとおもいます。それぞれに苦労や悩みがあると思うので、この状況に応じた対応を望みます。(韓国・朝鮮、女性、60～69歳、10年以上)
- ・八王子市役所に提案があります。英語、タガログ語、スペイン語、そしてポルトガル語が話せる人を任命します。そして任命された人は、日本語がうまく話せない人の受け入れを担当します。群馬県伊勢崎市のように。彼らは円滑に外国人を受け入れます。その業務フローは迅速、容易そして円滑です。(フィリピン、男性、60～69歳、10年以上)
- ・臨戦状態に見えるので自分の国・言語に対して獣偏の漢字が使われていることはたいへん痛ましいことです。八王子市にその使用を前面にひかえていただきたい。二十一世紀の日本とドイツ語圏の人々にとっても百害あって一利なし。(ドイツ語圏、男性、無回答、10年以上)

【その他感想】

- ・外国人の声を聞いてくれて、ありがとうございます。私たちも良い八王子を建てることに参加したいです。参加できるときがあるが、参加できないときが多いです。
一緒に働きましょう！！(メキシコ、女性、20～29歳、1年～3年)
- ・協力できてよかった。八王子大好き。もっと長く時間に住みたいです。(マレーシア、女性、20～29歳、1年未満)
- ・特に不自由は感じていません。とても住み良い町だと思います。(韓国・朝鮮、男性、40～49歳、10年以上)
- ・娘、家族、そして先に仕事、留学で来日していた息子、嫁も八王子に在住。孫を含め協力し合って仲良くくらしています。又多くの良き友人達と交流、幸い現在もその交流は続いています。(私、語学教室を来日するとすぐに開校。何かの役に立ちたいと高齢にかかわらず、挑戦の日々を送っています。)(アメリカ、女

- 性、70歳以上、4年～6年)
- ・お互いを尊重しあえば民族の隔たりはありません。(韓国・朝鮮、女性、70歳以上、10年以上)
 - ・八王子にはなんら問題なく、子育てする場所として最適です。(イギリス、男性、40～49歳、10年以上)
 - ・日本に住むには素晴らしい国です。これまでの10年間とても楽しみました。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
 - ・日本は外国人を非常に手助けしていると思います。より良くなると思われることについて、この調査でチェックをつけましたが、多くはありません。(アメリカ、女性、70歳以上、10年以上)
 - ・八王子での生活はとても楽しいです。(中国、女性、20～29歳、4年～6年)
 - ・私は在日韓国人3世で、日本生まれ日本育ちのため、このアンケートでは特に困っていること等ありません。日本の方と同じなので、子育てetc.の不安は外国人だからという感じではありません。(韓国・朝鮮、女性、30～39歳、10年以上)
 - ・外国人と言っても、日本で生を受け、教育も日本人と変わらず、地域とのかかわりもあるので、質問内容に答えるにあたって、あてはまらない事が多く未記入となっている部分があります。悪しからず。しかし在日生(れく市が追記)以外の外国人にとっては、大変有意義なアンケートであると思います。(韓国・朝鮮、女性、60～69歳、10年以上)
 - ・妻が日本人なので、困った時は妻に聞いて日本の情報を教えてもらえるため、(又は妻の親等)あまり困ったときがありませんでした。一人暮らしの外国人の人はちょっと不安があるかもしれませんが、相談できる人がいたら良いと思いますね。(イラン、男性、40～49歳、10年以上)
 - ・私の経験では、八王子市役所の職員はいつも礼儀正しく、助けてくれました。サービスも迅速で効率的でした。(オーストラリア、男性、40～49歳、10年以上)
 - ・八王子市役所の幾人かの職員は、時折礼儀正しきや親切さにかけており、それは私だけにではなく、妻にもです。外国を訪れたり、また暮らしたりしている人は、同化することを試みるべきだと強く信じています。あなた方の支援に感謝します。(アメリカ、男性、無回答、4年～6年)